

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/03/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

ウクライナ停戦合意期待で2週連続の下落

NY原油先物相場は、1バレル=93.53ドルまで大幅続落した後、103ドル水準まで切り返す荒れた相場展開になった。短期的な過熱感、ウクライナの停戦合意期待を背景に、3月7日の130.50ドルをピークに1週間強で最大36.97ドル(28.3%)ドルの急落地合になり、2月25日以来の安値を更新した。しかし、ロシアのウクライナ侵攻前の価格水準に近づいたことで逆に下げ過ぎ感が強くなったこと、ロシア産の供給不安を再評価する動きから、週後半は一気に下げ幅を縮小する展開になった。前週比では6.24ドル安であり、2週連続で下落した。1週間の値幅は16.19ドルであり、4週連続で二桁台になった。

3月14日からウクライナとロシアの4回目の停戦協議が始まった。協議は連続して行われており、両国の交渉担当者から前向きな発言が聞かれた。一時は数日以内に合意するとの見方も強くなっていたが、結果的には週末までに合意に達することはなかった。協議は決裂していないが、一方で両国の主張の隔たりも大きく、楽観から悲観へと修正が進む動きと連動して、原油相場も急落後の反発となった。

米エネルギー情報局(EIA)発表の米石油在庫(3月11日時点)は、原油が前週比435万バレル増、ガソリンが362万バレル減、石油精製品が33万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

高値波乱の展開が続き易いが、基調は強い

ウクライナ情勢のリスク評価が難しく、今週も極端な高ボラティリティ環境が続き易い。短時間で10ドル、20ドルと動く可能性を想定しておく必要がある。ただ、ロシア産の供給障害による需給バランスの歪みを是正する見通しは立たないだけに、基調判断は上向きになるろう。

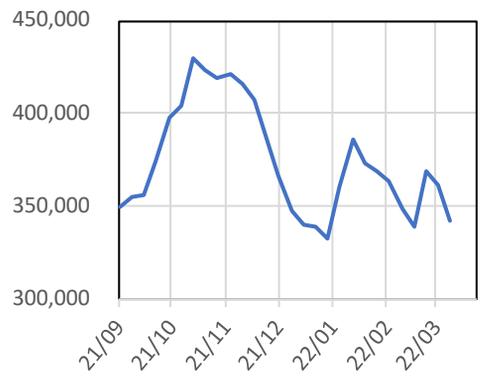
国際エネルギー機関（IEA）は、4月以降のロシア産石油供給が日量300万バレル減少するとの見通しを示した。不確実性が大きいとしているが、過去数十年で最大規模の供給障害が発生していると報告している。インドや中国などがロシア産の調達に意欲を示しているが、経済制裁の生産が生産と輸出の双方を抑制するとしている。

このため、各国がサウジアラビアやUAEに対して増産要請を行っているが、両国ともに石油輸出国機構（OPEC）プラスの政策方針に従うとしており、独自対応は拒否している。そのOPECプラスはロシアが参加している以上、大規模増産対応は想定しづらい。

米政府は国内石油会社に対して増産要請を行っているが、現状では積極的な増産対応の方針を示している企業は少ない。石油リグ稼働数の増加ペースにも目立った変化は確認できない。米政府は、石油会社が増産ではなく自社株買いなどに資金を回していることに強い不満を示しているが、政府に増産・減産を促す権限はない。

IEAの追加備蓄放出、イランやベネズエラに対する制裁解除の議論もあるが、ロシア産の代替供給の目途が立たないと、ウクライナ停戦合意の有無と関係なく上振れリスクが残されよう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



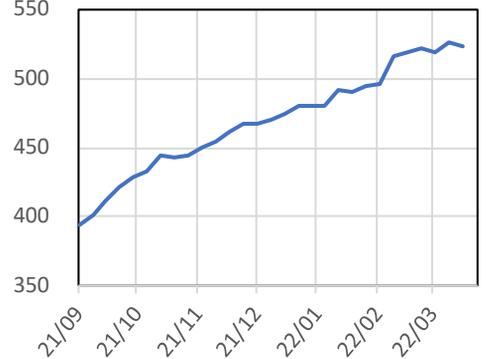
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

